議　　題

電算・情報関係部課長会議

議題１　データ入力代行業務の運用方法について（岡崎市提出）

【要旨】本市では、紙媒体に記載された情報をデータ化するデータ入力代行業務を庁内に勤務する作業従事者の人材派遣に依頼し、実施しているが、当該派遣に係る契約が令和６年３月末までで終了する。

本件について、令和６年４月以降の当該業務について、現行と同様に人材派遣で対応できる事業者が減少している現状に鑑み、業務委託も含めて依頼先を検討している。

次期運用を検討する上で参考にしたいので、各自治体におかれてはデータ入力代行業務をどのように運用しているのか、（１）～（３）の該当箇所についてご教示ください。

（１）外部に発注している場合（人材派遣を含む。）

a.契約主体課の有無（情報管理部門が取りまとめるのか、各課で契約しているのか)

b.契約の方法（派遣,委託等）

c.契約の種類（単価,総価等）

d.契約金額

e.帳票からデータ化までどのような運用（流れ、内容）であるかご教示ください（データの受け渡し方法、最短納期もご記入ください)。

例：データの授受については紙データを業者に手渡し、納品も庁内で完結している。よって、当日のデータ受け渡しであっても即日でのデータ納品を可能としている。

（２）外部に発注していない場合

㋑AI-OCR を活用している。

㋺その他（　　）

例：職員にて対応。

（３）その他（データ化する情報がないため、業務無し等）

※その旨を記載してください。

議題２　ガバメントクラウド利用の検討状況について（豊田市提出）

【要旨】ガバメントクラウドは、政府情報システム及び地方公共団体情報システム等のスマートなクラウド利用を促すことで、インフラ構築管理コスト及び工数削減、セキュリティ品質及び開発スピードの向上、継続的改善の実現を目指すことを目的とされています。しかし当市では次のような点を懸念しています。

・先行事業の採択団体による試算では、多くの場合は現状よりもコストが増加する結果となっておりコスト削減効果が期待できない。

・また、責任分界点の観点から、各システムの責任範囲におけるセキュリティ対策の設計が必要となる。

以上から、ガバメントクラウドの利用に関して、現時点での検討状況についてご教示ください。

（１）ガバメントクラウドの利用可否

（※以下、利用する（予定含む）の場合、回答をお願いします）

（２）いつ頃から利用開始するか

（３）利用方式（単独利用・共同利用）

（４）CSP 事業者

（５）移行するシステム（業務）の範囲

（６）移行に伴うセキュリティ対策

本市においては、現時点ではガバメントクラウドを利用する方向で検討を進めています。ただし、利用時期、システム範囲、セキュリティ対策、CSP 事業者などの詳細については、何も決定できていない状況となっています。

議題３　生成ＡＩの活用について（清須市提出）

【要旨】急速に発展している生成 AI について、５月８日付けで、総務省自治行政局デジタル基盤推進室から「ChatGPT 等の生成 AI の業務利用について」の文書が発出されましたが、各市の検討状況についてご教示ください。

（１）業務で利用することが決定していますか

（※以下、決定しているの場合、回答をお願いします）

（２）どのような業務で利用しますか

（３） ルールは決まっていますか。決まっている場合はどのような内容ですか。